

特定非営利活動法人 しまだつながり研究所 設立趣旨書

1 趣 旨

昨今、IT や科学技術の進歩のおかげで我々の暮らしはかつてないほど便利で快適なものとなった。その反面、家庭や職場、学校など地域社会における「人と人とのつながり」が希薄になり、孤独な子育て、児童や高齢者への虐待、経済困窮、他人への無関心など様々な社会問題を生み出している。どんなに物質的に豊かになっても人は人とのつながりの中にこそ幸せを感じることができるのではない。子どもたちには幼少期から家族以外の大人とふれあうこと、大人は様々なコミュニティに関わり、つながりの輪を広げることを目的とする活動を掲げ「しまだつながり研究所」を設立した。「はつくらこども食堂」を立ち上げ、子どもを中心に地域の人々がつながる居場所づくりを進めている。食糧支援や駄菓子屋運営など活動の幅を広げるにあたり人手や資金収集等の問題が深刻化した為、団体を法人化し社会的信頼を高め、成果を広く周知し、賛同者の増加、運営の安定を図る。行政や各関係団体と連携し、特に家庭の事情により経済的貧困や社会経験の貧困等を余儀なくされている子どもたちや自身の幸せを探求する女性たち、単身世帯で孤独感や生活上の不便を抱えるお年寄り等に目を向け、必要な時に必要な支援をいつでも提供できる体制づくりを進めたい。また、農地、空き地の再利用、賑わい創出など地域の活性化にも尽力し、人々の明るく豊かな生活の一助となることを目指す。

2 申請に至るまでの経過

平成31年2月 任意団体 はつくら こども・つながり研究所 設立
31年3月 はつくらこども食堂開始
令和 3年8月 特定非営利活動法人化のための勉強会開催
3年9月 発起人会開催
3年10月 はつくらンド（駄菓子屋、居場所づくり）開始
4年2月 設立総会開催

令和 4年 2月 26日

特定非営利活動法人 しまだつながり研究所
設立代表者 氏 名 青山 朝美